

## 富山湾における鯨類・ウミガメ類の記録（2002年）

著者	南部 久男, 西岡 満, 田中 豊, 大田 希生
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	26
ページ	145-147
発行年	2003-03-25
URL	<a href="http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&amp;item_id=787">http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&amp;item_id=787</a>

短 報

富山湾における鯨類・ウミガメ類の記録 (2002年)\*

南部 久男<sup>1)</sup>・西岡 満<sup>2)</sup>・田中 豊<sup>1)</sup>・  
太田 希生<sup>3)</sup>

- 1) 富山市科学文化センター, 2) 高岡古城公園動物園,
- 3) 北陸水中映像

**Stranding records of Cetaceans and Sea turtle  
from the coasts of Toyama Prefecture,  
Toyama Bay, during the year 2002.**

NAMB H.<sup>1)</sup>, M. NISHIOKA<sup>2)</sup>,  
Y. TANAKA<sup>1)</sup> and M. OOTA<sup>3)</sup>

- 1) Toyama Science Museum,
- 2) Takaokakojo Park Zoo,
- 3) Hokuriku Underwater Pictures

富山湾(富山県側)では、10種の鯨類、2種の鰭脚類が記録され、2001年は3種3例、不明種2例の計6例の鯨類について報告した(南部他、2000、2002)。また、ウミガメ類は富山湾で4種が記録されている(南部、2001)。今回、2002年と2001年に富山湾(富山県側及び石川県側)で確認した3例のイルカ類とウミガメ類1例について報告する。

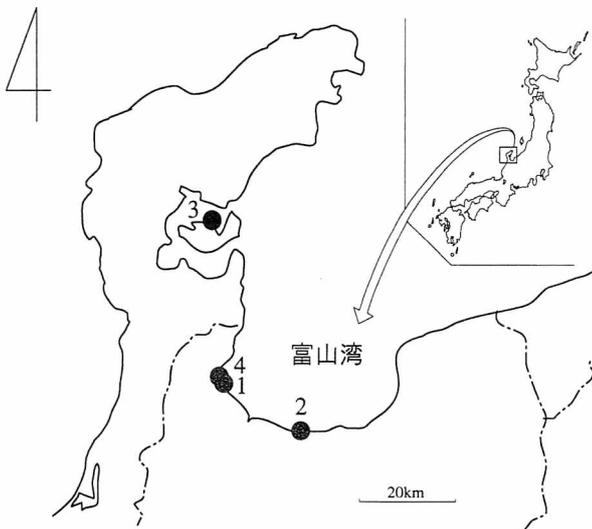


図1 確認地点  
数字は本文中の番号と対応  
(1. 高岡市雨晴, 2. 富山市浜黒崎, 3. 石川県能登島町向田, 4. 高岡市太田松太枝浜).

富山湾で確認された鯨類・ウミガメ類

2001年、2002年に富山湾沿岸での鯨類・ウミガメ類の確認状況等は下記の通りであり、確認地点を図1に示す。

1. カマイルカ *Lagenorhynchus obliquidens* マイルカ科 Delphinidae 図2

場所：高岡市雨晴

確認日：2002年4月2日

計測値

- ・性別 メス(卵巣の確認による)
- ・体長(上顎先端～尾ビレ正中の切痕底) 185cm

状況：4月2日、高岡市雨晴海岸を巡回中の高岡土木事務所海岸班職員が波打ち際でイルカを発見し、同日夕方南部が現地調査を行った。イルカは波打ち際に打ち上がり、尾部は砂に埋まっていた。表皮の大部分は剥がれ、頭部の腐敗が特にひどく、下顎骨、上顎骨の一部が剥き出しになっていた。尾柄部の背側の部分に長さ20cmほどの、鋭利なもので切られたような傷跡が2箇所見られた。

4月3日、南部他4名により解体を行い、全身の骨格と胃内容物を採取した。その他の、内蔵、肉等は地元業者により廃棄処分された。胃内容物には、魚類の脊椎骨等がみられた。骨、胃内容物は富山市科学文化センターで、背部の筋肉の一部は、DNAサンプルとして国立科学博物館で保管されている。

2. イルカ種不明

場所：富山市浜黒崎沖富山湾150m, 水深約16m

確認日時：2001年4月29日, 午前10時前(晴れ)



図2 2002年4月2日、高岡市雨晴の海岸で発見されたカマイルカの漂着死体(南部久男撮影)。

\*富山市科学文化センター研究業績第290号

状況：親子でゴムボート（幅1.2m×長さ2.6m）に乗り、いかりをおろしてキス・カレイ釣りをしていた時に、遠くでジャンプしていたイルカにいつのまにか囲まれた。ゴムボートの周りに50頭以上が集まり、周りで4-5頭がジャンプしたり、ゴムボートの下へ潜ることを、30分程繰り返した。長さ2m程で、背中が灰色っぽく、腹は白かった。5月の連休中も同じ場所に釣りにでかけたがイルカには出合わなかった。南部聞き取り。

目撃者：永原忠光氏・永原雄太郎氏（立山町）

### 3. イルカ種不明

場所：石川県能登島町向田向田漁港沖約200m

確認日時：2002年10月25日（金）午後2時頃。天候は晴れ。

状況：クロダイ釣りをしている時に向田漁港沖約200mで約10頭のイルカの群を目撃した。1頭は子供と思われた。

確認者：西岡満

### 4. アオウミガメ *Chelonia mydas* ウミガメ科 CHELONIIDAE 図3

場所：高岡市太田松太枝浜の海岸

確認日：2002年10月27日

計測値

・性別 メス

・甲長80cm, 甲幅60cm, 肋甲板4枚

状況：10月27日、市民によって発見され、高岡土木事務所職員が現地確認し、同日夕方南部、田中らが現地調査を行った。腐敗が激しく、肛門右より腸の一部が飛び出していた。背甲表面の鱗板は剥がれ全体的に白く

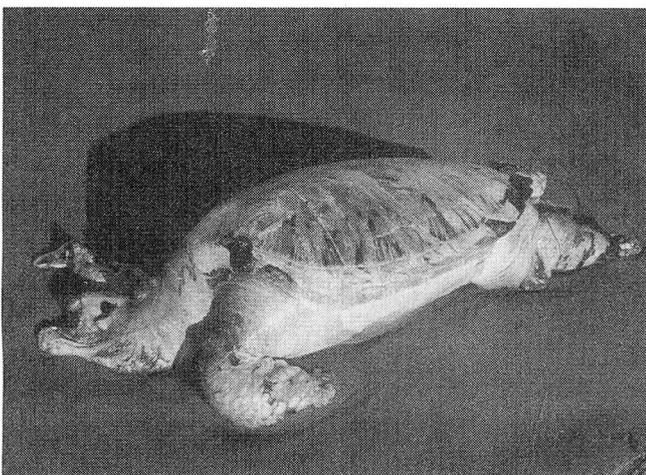


図3 2002年10月27日、高岡市太田の海岸で発見されたアオウミガメの漂着死体（南部久男撮影）

なっていた。翌日解体し、甲、骨を取り出し、軟部組織等は高岡市で処分された。甲羅、骨は科学文化センターで保管している。

備考：Marquez（1994）によると、アオウミガメの肋甲板は4枚、アカウミガメは5枚であるので、アオウミガメと同定した。また、尾が背甲後縁より数cmしか飛び出でていないことよりメスと判定した。

富山湾（富山県側）では、4科11種の鯨類、2科2種の鰭脚類の海棲哺乳類が記録され、2001年は、3種3例（ミンククジラ、カマイルカ、ハンドウイルカ）、2種2例の不明種の計5例のクジラ類が記録された（南部他、2002）。今回記録されたカマイルカは富山湾では既知種である。2001年には、4月20日に魚津沖の富山湾でカマイルカの群が25~50頭目撃され、5月13日には富山市沖で不明種（ハナゴンドウの可能性のある）1頭が目撃されている（南部他、2001）。今回の2001年の情報を併せると、2001年4月には富山湾に相次いでイルカが入ってきた可能性がある。

富山湾（富山県側）におけるウミガメ類には、ウミガメ科のアオウミガメ *Chelonia mydas*、タイマイ *Eretmochelys imbricata*、アカウミガメ *Caretta caretta*、オサガメ科のオサガメ *Dermochelys coriacea* の計4種が記録されているが、今回確認されたアオウミガメは、アカウミガメに比べると記録は少ない（南部、2001）。

### 謝辞

国立科学博物館動物第一研究室長山田格博士には、同定や草稿について御教示いただいた。富山県高岡土木事務所海岸班、富山県水産漁港課にはイルカの貴重な情報を提供いただいた。永原忠光氏・永原雄太郎氏には、イルカの貴重な目撃情報を提供していただいた。魚津水族館、加野泰男氏、稲村修氏、高山茂樹氏、名古屋市水族館堀井直二郎氏、姫路市立水族館館長本武良氏にはウミガメ類の情報や文献をご教示いただいた。平成14年度富山市科学文化センター博物館実習生水木亮史氏（麻生大学）、竹内ゆかり氏（富山大学）には、現地調査や解剖にご協力いただいた。志波友子氏には作図をしていただいた。関係各位に深くお礼申し上げます。

### 参考文献

南部久男・田島木綿子・荻野みちる・倉持利明・山田格・田中豊、2000.富山湾氷見市の海岸に漂着したオットセイについて。富山市科学文化センター研究報告。(23)：169-171。

南部久男・稲村修・田島木綿子・倉持利明・山田格,  
2002. 富山湾における鯨類 (Cetaceans) の記録  
(2001年). 富山市科学文化センター研究報告.  
(25) : 169-171.

南部久男, 2001. 両生類・爬虫類. 富山市科学文化セ  
ンター収蔵目録第14号.105pp.

Marquez, R. M. 1994. F A O生物種カタログ第11巻.  
世界の海亀類. 内田至日本語版監修. 水産庁研究  
部.